

第126回 岩手小動物臨床研究会(IVC)のご案内

風は冷たいものの春の日差しを感じるこの頃です。

年度末のお忙しい時期ですが、お元氣でご活躍のことと思います。

さて、今月は、岩手大学附属動物病院・岩手県獣医師会共催のもとに第126回 IVC を開催する運びとなりました。テーマは岩手大学附属動物病院(以下、動物病院)の2次診療についてです。

動物病院は、長い間岩手大学家畜病院として歩んで参りましたが、社会のニーズに応えるべく「小動物診療部門」と「大動物診療部門」を大きく分け、名称も「岩手大学附属動物病院」となりました。また、小動物部門については、より専門色の強い専門診療科に分け、スタッフの充実ならびに特殊検査装置・特殊治療装置の導入を図って参りました。このような流れの中で、動物病院の診療は2次診療に特化し、岩手県と東北各地の臨床獣医師の方々にご利用いただければ幸いと考えております。

しかし、どのような内容とサービスがあるのか、またどのようなスタッフがいるのか、あまりよくわからないというお声を耳にしております。そこで、今回、2次診療病院としてスタートした動物病院の診療科と診療スタッフならびにご提供可能な特殊検査と特殊治療について説明会を開催したいと存じます。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

世話人 佐藤れえ子

—記—

日時: 3月 27日(金) 午後7半より9時

場所: 岩手大学 農学部 1号館2階 会議室

話題 : 岩手大学附属動物病院の2次診療体制の紹介と
専門診療の実際について

講師: 岩手大学附属動物病院臨床スタッフ